

第10回 糸魚川市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 令和7年7月24日(木) 10時00分から
- 2 会場 糸魚川市役所 201・202会議室
- 3 出席委員 教 育 長 齋本 修一
教育長職務代理 谷口 一之
委 員 楠 愛
委 員 秋山 伸宏
委 員 松田早央里
- 4 委員以外の出席者
教育次長 山本喜八郎
こども課 課 長 室橋 淳次 課長補佐 田村 公一
管理係長 池亀 正人
こども教育課 課 長 小川 豊雄 参 事 渡邊 興勝
課長補佐 関澤 仁 課長補佐 仲谷 貴子
係 長 八木千佳誉
生涯学習課 課 長 川合三喜八 課長補佐 本間 正之
文化振興課 課 長 嵐口 守 課長補佐 榊 正喜
博物館 館長補佐 関澤 一
書記 こども課主査 上原 奈穂
- 5 報 告
報告第 31号 感染者の確認に伴う休校等について

報告第 32号 令和6年度の教育に関する事務の点検及び評価に係る外部評価委員の委嘱について

報告第 33号 各課・機関所管事項について
- 6 付議案件
議案第 33号 専決処分の報告について
糸魚川市能生学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

議案第 34号 令和8年度使用小学校教科用図書の採択について

議案第 35号 令和 8 年度使用中学校教科用図書の採択について

議案第 36号 令和 8 年度使用特別支援学校用（小・中学部）教科用図書の採択について

議案第 37号 令和 8 年度使用学校教育法附則第 9 条の規定による一般図書（特別支援学校・学級用）の採択について

7 会議録署名委員の指名 1 番 谷口委員

8 傍聴者 4 人

教育長

令和 7 年第 10 回教育委員会定例会を開会する。

ここで付議案件の進行についてお諮りする。議案第 34 号から議案第 37 号までは学校教科用図書の採択に係る案件であるため、非公開としたい。これにご異議はないか。

委員

（「異議なし」の声あり。）

教育長

異議なしと認め、議案第 34 号から議案第 37 号までは非公開とする。これにより会議日程の順序を入れ替え、次回教育委員会定例会開催日予定、その他の後としたいが、これにご異議はないか。

委員

（「異議なし」の声あり。）

教育長

異議なしと認め、今ほどの決定のとおり進める。

報告第 31 号感染者の確認に伴う休校等について、事務局の説明を求める。

こども教育課長

（資料に基づき説明）

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

委員

（「なし」の声あり。）

教育長

質疑なしと認め、報告第 32 号令和 6 年度の教育に関する事務の点検及び評価に係る外部評価委員の委嘱について、事務局の説明を求める。

教育次長

（資料に基づき説明）

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

委員

（「なし」の声あり）

教育長

質疑なしと認め、報告第 33 号各課・機関所管事項について、事務局の説明を求める。

こども課 所管事項報告

こども教育課 所管事項報告

生涯学習課 所管事項報告

文化振興課 所管事項報告

	<p>図書館 所管事項報告</p> <p>博物館 所管事項報告</p> <p>市民会館 所管事項報告</p>
教育長 楠委員	<p>今ほどの説明について、ご質疑はないか。</p> <p>「お父さんといっしょ」が糸魚川地区公民館で開催されるが、会場は例年固定されているのか。</p>
生涯学習課長補佐	<p>夏休みと冬休みに開催していて、昨年の夏休みは能生生涯学習センターで、冬休みは青海総合文化会館で開催した。いろいろな会場で開催している。</p>
楠委員 谷口委員	<p>いろいろな会場で継続して開催してもらいたい。</p> <p>中学生海外派遣事業と広島派遣事業の希望者はどのくらいいるか。開催にあたり事前学習会が予定されているが、どのような内容を学習するのか。</p>
こども教育課長補佐	<p>海外派遣事業は26人の中学3年生から参加いただく。今年度は市内在住の中学3年生に範囲を広げたこともあり、直江津中等教育学校の生徒5人からも参加いただく。事前学習会は3回予定していて、香港がどういう国なのか、香港ジオパークの見所等を学習する。今回は現地の学生との交流会を予定しているため、学習会で糸魚川がどんなところかを学習して、糸魚川の魅力をプレゼンする資料を英語で作成する。</p>
こども教育課参事	<p>広島派遣事業は市内の中学2年生10人から参加いただく。学習会は一般的な内容だが、広島で原子爆弾が投下されたこと、それによりどのような被害があったか、糸魚川市はいつから派遣事業を行っているかを学習した。これらは調べればいくらでも調べられるが、大事にしているのは現地に行って実際に見て聞いてくることで、そしてそれを今後、糸魚川市に返してほしい。そして自分の生活に生かしてほしいということを経験した。</p>
谷口委員	<p>実際に平和記念公園で式典に参加すると、原爆の悲惨さがすごく分かる。後日報告書を作成してもらっているが、貴重な経験を今後に生かしてもらいたい。</p>
秋山委員	<p>不登校者数が前月から12人増加している。初期対応を重点化するという話もあったが数が多いと感じる。具体的にどのような状況か。</p>
こども教育課長	<p>欠席日数が30日以上に達したことで12人の増加となった。主たる要因としては無気力・不安が多くなっていて、なかなかはっきりした要因は分かってこない。生徒本人も自分がどうして学校に行けないのかがよく分からないという状況もあると聞いている。</p>
秋山委員	<p>生徒指導や支援員などたくさんのスタッフがいるので、増加しないことを願いながら、初期対応や医療機関との連携も含めて、幅広い視点から苦しんでいる状況の児童あるいは保護者をフォローして</p>

松田委員	<p>もらいたい。</p> <p>教育懇談会のグループワークで幼稚園の園長先生から園の保護者に向けて情報モラルの話をしていきたいといった意見があった。9月に開催される保護者向け学習会は幼保の保護者も対象か。</p>
こども教育課参事	<p>校長会が主催で開催するが、市内全ての幼保、小中の保護者に案内を出すと聞いている。各学校と園の管理職にはすでに案内が済んでいて、今後保護者向けに案内がされると考える。教育懇談会のアンケートをまとめているが、大変好評で保護者の学びが必要であるといった声が多かった。それを受けて校長会が教育委員会の取組を広げていきたいと学習会を開催する。</p>
松田委員	<p>友人から母親が家事をしている間に、父親が子どもと一緒にタブレットやスマホでゲームをしていると聞くので、ぜひお父さんにも参加してもらいたい、園児の保護者からは子守りがあるから参加できないといった声が聞かれる。貴重な機会なので、保育ルームの設置を検討してもらいたい。</p>
こども教育課参事	<p>校長会に話をする。教育委員会もバックアップ体制を整えて、多くの方に参加いただけるように進めていきたい。</p>
秋山委員	<p>学校訪問で校長先生から小学校の段階で愛着形成に問題があったり、学校や学級が荒れていたりする中で対応をしているが、学校として対応しきれない事案があると聞いた。その原因が保護者の理解を得たり、共同歩調で進んでいったりすることが難しく、学校として崩壊状況を直すのに2年から3年ほどかかり、今ようやく良くなってきているという切実な声を聞いた。学校としては小学校の段階で対応できることはやっているし、幼稚園でもできることはやっている。一貫教育の中で0歳からの段階で市としては取り組んでいる状況があるが、それでもそのような現状がある。どこでその改善を切り込んでいけばいいのか。今ほど報告があったような学習会や講演会を開催しても、対象となる方がなかなかそこには来てくれない。初期対応として、どのような状況が家庭で起きているかを0歳のスタート地点から見ていかないとこの状況を救えないのではないかと。現在も取り組んでいると思うが、学校訪問で現場の声を聞いた後で、行政がそこに深く取り組めるものがあるか聞きたい。</p>
こども課長	<p>非常に難しい問題だと思っている。これまでも保健師が乳幼児期、幼児期を含めて対応しているが、親子の愛着形成は非常にデリケートな部分があったり、分かりにくい部分があったりして把握が難しい。児童虐待の家庭のように顕著に現れれば、市や児童相談所等が関わるができるが、表立って出てこないところも潜在的に多数あると想定される。そういったところをどうやって洗い出していくかは非常に難しい課題で解決策はなかなか見出せていないが、国の伴走型支援で早い段階で母親と保健師の顔つなぎができる体制が整</p>

ってきている。親子関係の状況を保健師が見取る中で心配な家庭には早めに関わりを持ち、そういったところをしっかりと充実させて、対応を図っていききたい。

こども教育課長

学校での取組として教職員も愛着形成に関する研修等を行っている。愛着形成に課題があるのではないかという児童が出てきた場合は市教委のスクールソーシャルワーカー等から入ってもらい、キーパーソンを誰にするかを決めたり、その児童に合った対応を検討したりしている。そのための学校のフォローを教育委員会では行って、今後も継続していききたい。

秋山委員

保護者は助けを求めているのではないか。小さなことでも困っていることを助けてもらったという感覚ができれば、その後の対応が虐待に動かずに、親としてどうあるべきかプラスのフィードバックになるのではないか。予備的なものが継続するような体制があると苦しんでいる保護者が助けられるのではないか。

こども課長

相談員は児童虐待の対応については保護者の困り感に寄り添った対応に力点を置いて対応している。子どもに対する対応が難しく、叱ったり、怒鳴ったりする保護者を非難しても仕方ないので、保護者自身の困り感、子ども自身の困り感を少しでも取り除けるような視点での相談対応、支援対応を今後も続けていく。

教育長
委員

ほかにご質疑はないか。

(「なし」の声あり。)

教育長

質疑なしと認め、付議案件に入る。

議案第 33 号専決処分の報告について、糸魚川市能生学校給食センター運営委員会委員の委嘱について、事務局の説明を求める。

こども課長

(資料に基づき説明)

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

委員

(「なし」の声あり。)

教育長

ご質疑なしと認め、採決に入る。

議案第 33 号について、ご異議はないか。

委員

(「異議なし」の声あり。)

教育長

異議なしと認め、承認する。

原案のとおり承認

教育次長

次回教育委員会定例会開催

令和 7 年 8 月 21 日(木) 10時から

教育長

その他 特になし

これより非公開とする。

議案第34号

原案のとおり承認

教育長

議案第 35 号 原案のとおり承認

議案第 36 号 原案のとおり承認

議案第 37 号 原案のとおり承認

これより非公開を解く。

以上で、令和 7 年第 10 回教育委員会定例会を閉会する。

11:11 終了